

衛研第3 - 48号
平成29年 3月 1日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 8 週（平成 29 年 2 月 20 日～平成 29 年 2 月 26 日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、レジオネラ症 1 人、レプトスピラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、ウイルス性肝炎 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 人、急性脳炎 1 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 5 人、梅毒 6 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**インフルエンザ**(27.82 20.48：図 1)の定点当たり報告数は第 5 週(1 月 30 日～2 月 5 日)以降減少を続けているが、今しばらく注意が必要である。保健所別では、狭山(27.73)、東松山(27.13)、幸手(26.50)、坂戸(26.20)保健所管内からの報告が多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.79 2.91：図 2)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まった。保健所別では、熊谷(6.56 7.00)、春日部(4.67 5.67)、川越市(4.75

5.63)保健所管内で報告数の多い状態が続いている。**流行性耳下腺炎**(0.49 0.51)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、朝霞(1.50)、川越市(1.25)、東松山(1.20)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 11 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 2 人、**マイコプラズマ肺炎** 5 人、**感染性胃腸炎（ロタウイルス）** 1 人、**インフルエンザ（入院）** 24 人(前週 23 人)の報告があった。**インフルエンザ（入院）**の報告の年齢階級別では、70 歳以上(16 人)が最も多い。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし（結核を除く）
三類感染症	報告なし
四類感染症	E 型肝炎 1 人（推定感染地域 国内）
	レジオネラ症 1 人（病型 肺炎型）
	レプトスピラ症 1 人（推定感染地域 国内）
五類感染症	アメーバ赤痢 1 人（病型 腸管アメーバ症）
	ウイルス性肝炎 1 人（病型 B 型）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 2 人）
	急性脳炎 1 人（病原体 不明）
	後天性免疫不全症候群 1 人（病型 無症状病原体保有者）
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人
	侵襲性肺炎球菌感染症 5 人
	梅毒 6 人（病型 早期顕症 期 1 人、 早期顕症 期 2 人、 無症状病原体保有者 3 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報

今週のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週に引き続き減少傾向(27.82 20.48)にあるが、今しばらく注意が必要である(図1)。

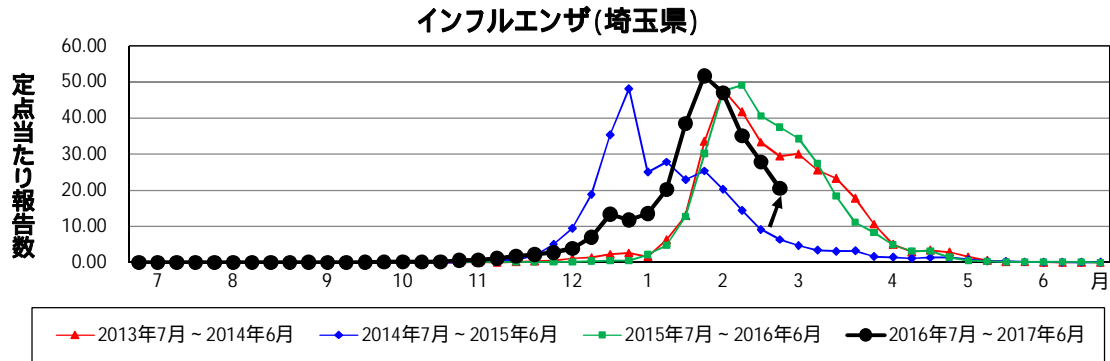


図1 インフルエンザ 定点当たり報告数の推移(2013年7月～)

第5週(1月30日～2月5日)以降の4週間に、13保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出数は87件で、A香港型(AH3)が68件と78.2%を占め最も多く、次いで、B山形系統の検出数が10件(11.5%)と多い(表1)。

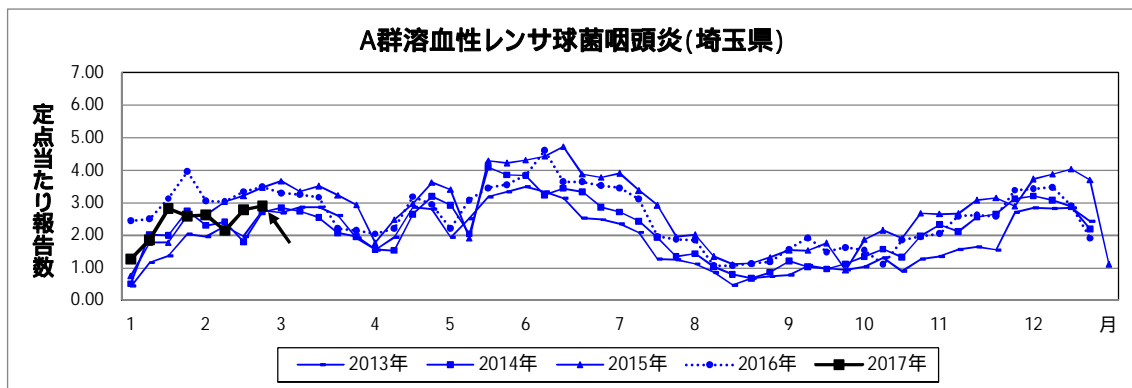
表1. 第5～8週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

型	5w	6w	7w	8w	4週の合計
AH1pdm09	1	-	-	-	1
AH3	27	19	19	3	68
Bビクトリア系統	4	1	2	1	8
B山形系統	3	4	3	-	10

(-:0)

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第8週)

(2017年2月28日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2016年 累計		今週 届出	累 計	2016年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1372	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢			11	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		7	174				
四類感染症							
E型肝炎	1	3	15	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		1	6	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	1	7	89
つつが虫病			1	レプトスピラ症	1	1	
デング熱		3	13	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	1	13	44	侵襲性肺炎球菌感染症	5	30	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	1	7	水痘*		1	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	6	50	先天性風しん症候群			
急性脳炎	1	9	38	梅毒	6	23	190
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			8
クロイツフェルト・ヤコブ病			5	破傷風			4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		4	21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群	1	3	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		4	9
ジアルジア症			1	風しん		1	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	9	麻しん			8
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	7
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他	累計
					1

累計は診断日で集計
* 2016年累計は暫定値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報		保健所別 (第8週)										平成29年2月20日～平成29年2月26日										
保健所	報告患者数	報告患者数										報告患者数										
		インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(口吐ウイルス)	インフルエンザ(入院)			
県	報告数	5.201	22	36	469	862	69	7	9	60	3	1	82	1	11	11	-	2	5	-	1	24
川	報告数	20.48	0.14	0.22	2.91	5.35	0.43	0.04	0.06	0.37	0.02	0.01	0.51	0.02	0.27	-	0.20	0.50	-	0.10	2.40	
朝	報告数	14.96	0.75	0.56	4.06	10.94	0.81	-	-	0.44	-	-	0.56	0.20	1.40	-	-	-	-	-	-	
朝	報告数	411	1	2	22	80	6	-	1	6	-	-	21	-	1	-	-	-	-	-	-	
鴻	報告数	18.68	0.07	0.14	1.57	5.71	0.43	-	0.07	0.43	-	-	1.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-	
鴻	報告数	442	3	-	18	46	8	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
東	報告数	23.26	0.25	-	1.50	3.83	0.67	-	-	0.17	-	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	
東	報告数	217	-	-	12	15	-	1	-	2	-	-	6	-	-	-	-	2	-	-	1	
秩	報告数	27.13	-	-	2.40	3.00	-	0.20	-	0.40	-	-	1.20	-	-	-	-	2.00	-	-	1.00	
秩	報告数	72	-	-	1	5	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
本	報告数	14.40	-	-	0.33	1.67	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	
本	報告数	103	-	-	1	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊	報告数	14.71	-	0.25	1.50	1.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊	報告数	316	1	-	63	77	5	-	1	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	1	
加	報告数	22.57	0.11	-	7.00	8.56	0.56	-	0.11	-	0.11	-	0.22	-	1.00	-	-	-	-	-	1.00	
加	報告数	203	-	-	10	4	2	-	-	3	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	
春	報告数	20.30	-	-	1.67	0.67	0.33	-	-	0.50	-	-	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	
春	報告数	204	-	4	34	17	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
幸	報告数	20.40	-	0.67	5.67	2.83	0.17	-	0.17	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
幸	報告数	371	-	4	20	40	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	
坂	報告数	26.50	-	0.44	2.22	4.44	0.11	-	-	-	-	-	0.11	-	-	-	-	1.00	-	-	1.00	
坂	報告数	262	2	1	5	43	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
草	報告数	26.20	0.33	0.17	0.83	7.17	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草	報告数	416	1	3	30	38	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
狭	報告数	24.47	0.09	0.27	2.73	3.45	0.27	-	-	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
狭	報告数	721	-	6	43	68	2	-	-	10	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	1	
川	報告数	27.73	-	0.35	2.53	4.00	0.12	-	-	0.59	-	-	0.65	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
川	報告数	205	-	1	45	40	5	1	-	3	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
越	報告数	15.77	-	0.13	5.63	5.00	0.63	0.13	-	0.38	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	
越	報告数	219	-	4	21	15	2	1	1	5	-	-	4	-	1	-	-	2	-	-	3	
さい	報告数	16.85	-	0.50	2.63	1.88	0.25	0.13	0.13	0.63	-	-	0.50	-	0.50	-	-	2.00	-	-	3.00	
さい	報告数	665	2	1	74	193	20	4	3	15	2	1	12	-	-	-	2	-	-	-	10	
(- : 0.00)	報告数	16.22	0.07	0.04	2.74	7.15	0.74	0.15	0.11	0.56	0.07	0.04	0.44	-	-	-	2.00	-	-	-	10.00	

1 鳥インフルエンザを除く
2 真菌性を含む
3 オウム病を除く

2月 28日

13:00集計

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (第8週 平成29年2月20日～平成29年2月26日)

	年齢別																				
	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
インフルエンザ #1	5,201	14	38	177	200	229	294	340	285	340	356	259	926	235	235	304	339	192	201	142	95
合計	-6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
RSウイルス感染症	22	4	7	8	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	36	-	1	10	7	2	7	4	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	469	-	2	10	18	31	58	71	61	51	49	39	42	4	33	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	862	-	28	84	83	85	95	74	55	54	48	42	104	20	90	-	-	-	-	-	-
水痘	69	-	1	2	1	5	7	10	16	13	9	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	7	-	-	4	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	9	-	-	1	1	1	1	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	60	-	20	32	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	82	-	-	3	1	4	5	17	10	13	9	7	11	2	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎	11	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	3	4	1	-	-	-
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マイコプラズマ肺炎	5	-	-	1	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	24	1	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	16

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (-:0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 6週

(2月6日～2月12日)

平成29年3月1日

インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は高知県(41.63)、福岡県(39.77)、大分県(38.55)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,397例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(45例)、1～9歳(244例)、10代(62例)、20代(11例)、30代(21例)、40代(26例)、50代(44例)、60代(115例)、70代(247例)、80歳以上(582例)であった。

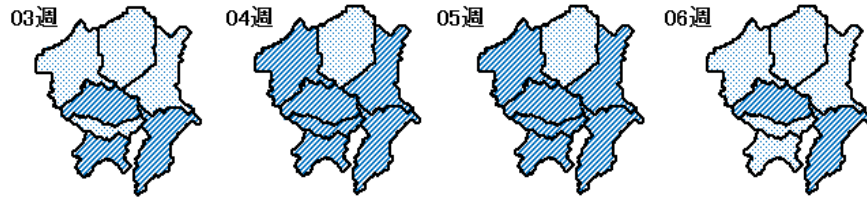
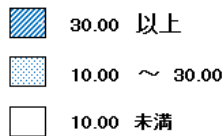
RSウイルス感染症の報告数は788例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は鹿児島県(0.75)、岡山県(0.65)、佐賀県(0.65)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.53)、山形県(4.50)、山梨県(4.08)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(18.14)、石川県(11.55)、宮崎県(10.03)である。水痘の定点当たり報告数は第2週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.82)、山形県(0.70)、福岡県(0.56)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.75)、熊本県(0.50)、佐賀県(0.48)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.31)、島根県(0.30)、愛媛県(0.22)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.07)、新潟県(1.98)、山口県(1.83)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第3週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は石川県(1.20)、岐阜県(1.20)、兵庫県(1.09)、栃木県(1.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。22都県から49例報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～4歳(33例)、5～9歳(9例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(35.14)、千葉県(31.85)からの報告が多い。

インフルエンザ



		平成29年 06週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	141,666	42,438	2,991	1,755	2,273	8,856	6,848	10,813	8,902
	定点当たり	28.57	27.97	24.93	23.09	23.93	35.14	31.85	26.18	25.73
RSウイルス感染症	報告数	788	106	3	10	4	25	19	22	23
	定点当たり	0.25	0.11	0.04	0.21	0.07	0.16	0.14	0.08	0.11
咽頭結膜熱	報告数	967	184	19	8	19	31	21	53	33
	定点当たり	0.31	0.19	0.25	0.17	0.33	0.20	0.16	0.20	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,852	2,064	198	53	154	340	480	473	366
	定点当たり	2.17	2.17	2.64	1.10	2.66	2.15	3.56	1.82	1.69
感染性胃腸炎	報告数	15,838	4,324	257	130	305	760	594	1,370	908
	定点当たり	5.01	4.55	3.43	2.71	5.26	4.81	4.40	5.27	4.20
水痘	報告数	879	246	27	10	17	56	24	48	64
	定点当たり	0.28	0.26	0.36	0.21	0.29	0.35	0.18	0.18	0.30
手足口病	報告数	432	73	9	1	23	14	4	21	1
	定点当たり	0.14	0.08	0.12	0.02	0.40	0.09	0.03	0.08	0.00
伝染性紅斑	報告数	188	54	1	-	4	7	15	20	7
	定点当たり	0.06	0.06	0.01	-	0.07	0.04	0.11	0.08	0.03
突発性発しん	報告数	1,039	342	15	14	17	47	48	107	94
	定点当たり	0.33	0.36	0.20	0.29	0.29	0.30	0.36	0.41	0.44
百日咳	報告数	17	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	-	-	-	0.00	-
ヘルパンギーナ	報告数	52	4	-	-	3	-	1	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	0.05	-	0.01	-	-
流行性耳下腺炎	報告数	1,677	304	19	6	19	67	33	68	92
	定点当たり	0.53	0.32	0.25	0.13	0.33	0.42	0.24	0.26	0.43
急性出血性結膜炎	報告数	6	5	-	-	-	3	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.08	0.03	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	283	110	11	3	7	10	25	7	47
	定点当たり	0.41	0.54	0.65	0.25	0.50	0.25	0.71	0.18	0.96
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	13	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.03	-	-	-	-	-	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	199	32	1	7	4	6	6	7	1
	定点当たり	0.42	0.40	0.08	1.00	0.50	0.60	0.67	0.29	0.11
クラミジア肺炎 #3	報告数	7	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.03	-	-	-	0.20	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	49	17	-	1	2	2	1	5	6
	定点当たり	0.10	0.21	-	0.14	0.25	0.20	0.11	0.21	0.67

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)

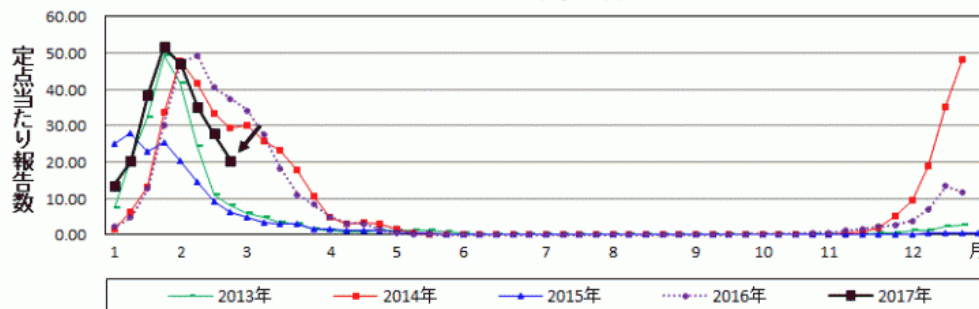
感染症の流行状況 2017年 第8週

2017年第8週（平成29年2月20日～2月26日）の要点 平成29年3月1日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週に引き続き減少しましたが、今しばらく注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	↓	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。